

大阪消防

OSAKA SHOBO

平成29年

1

月号

No.802



大阪都心の2大オアシス!

挑戦者、求ム!

LOVLY 熱波! ロウリュウ

体感100℃! 灼熱のエンターテイメント!!

大好評につき 毎日イベント開催中!!

梅田の大東洋
メンズサウナ&カプセルホテル
レディスサウナ

本格派サウナ浴場
本格派リラクゼーションMENU

天然温泉 萬の湯

なんば千日前のアムザ
メンズサウナ&カプセルホテル

コンセント、Wifi、各種自慢のサービス

団体割引適用で割安!

~消防人生をずっと補償~

いざという時のために!

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者 のための 保険

1 消防職員医療保険

医療保険基本特約付・疾病保険特約
・傷害保険特約セット 団体総合保険

募集時期 ■ 7~8月 2~3月 2~4月 (新採用プラン)

2 消防職員傷害保険

総合補償特約セット
普通傷害保険・家庭傷害保険

3 消防職員賠償責任保険

救命救急士の
専門業務も補償!

公務員賠償責任保険 (消防職員危険担保特約条項、初期対応費用担保特約条項、保険料支払に関する特約条項)

募集時期 ■ 12~2月 7~8月

4 消防職員がん保険

団体総合生活保険 (がん補償)

募集時期 ■ 12~3月

5 消防退職者医療保険

団体総合生活保険 (医療補償)

募集時期 ■ 12~3月

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社 一般財団法人 全国消防協会 損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階 TEL.03-3234-1331 (代)

引受保険会社 ・ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 ・ 東京海上日動火災保険株式会社

〔損害保険ジャパン日本興亜株式会社〕は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

SJNK15-15088 (2015.01.21)
15-T11232 (2016年2月作成)



藤井 茂樹

大阪市消防局長

年頭にあたって

平成29年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年を顧みますと、4月には、観測史上初めて最大震度7が連続するという「平成28年熊本地震」が発生し、多くの尊い命と貴重な財産が奪われました。また、8月には台風が次々と日本に上陸し、東北地方では大雨による堤防の決壊で、濁流が高齢者施設をのみ込み、多くのお年寄りの命を奪いました。さらに10月には鳥取県中部で震度6弱の地震が発生し、多くの住宅に被害をもたらすなど、改めて自然災害の恐ろしさを痛感した一年でした。

近年、南海トラフ巨大地震の発生が迫っている中、消防に寄せられる市民の期待

は、ますます大きなものとなっています。いかなる事態が発生しようとも、「災害から市民を守る」という消防の使命は不変であり、当局が組織方針として掲げてきた「力強い消防」であることはもちろん、未知の災害にもしなやかに対応できる「人」そして「組織」でなければならないと考えています。

また、職員の皆様には、災害対応の場面だけでなく、市民の皆様と接する様々な場面においても、柔軟でしなやかな対応を心掛けていただきたいと思います。組織の目標である市民が安心して暮らせる「災害のない安全なまち」、「災害に強いまち」を目指し、今年も力を合わせて頑張りましょう。



大阪市消防局・期待の星

2017

あけましておめでとうございます

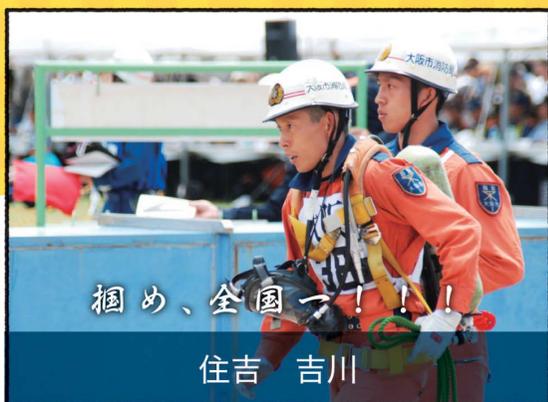
大阪市消防局の職員36名から新年の抱負を頂きました。
今年も災害のない安心・安全なまちづくりをめざして職務に専念します。











大阪府内消防局・消防本部 期待の星

2017

あけましておめでとうございます

大阪府内消防局・消防本部の職員26名から新年の抱負を頂きました。
力強さと優しさを兼ね備えたプロの消防としての自覚と誇りを持ち、今年も一丸となって全力で取り組んでいきます。









表紙：大阪市消防局／編集部

01	このは 年頭にあたって	藤井茂樹
02	特集記事 2017 大阪市消防局 期待の星	編集部
07	特集記事 2017 大阪府内消防局・消防本部 期待の星	編集部
11	コンテンツ	編集部
12	グラビア 第4回大阪府下警防技術指導会	編集部
13	グラビア 平成28年度大阪市総合防災訓練（実動）・平成28年消防局長による歳末視察	編集部
14	いらっしゃい、大阪消防です！ 渡邊 明さんを訪ねて	編集部
17	ニュースカプセル ポブ・ディラン旋風	藤井英一 イラスト・山田いつか
18	「昭和」24面相 グライ・ラマ&カストロ	信濃 文
20	みんなで備えるコミュニティ防災（16）災害時の飲料水の確保	貫上佳則
21	レスキューナースからのメッセージ（10）防災体験アトラクション LIFELINE	辻 直美
22	コマンドアイ 一刻の猶予もない救助活動	北方面隊
24	調査鑑識 平成28年度 大阪市火災調査事例発表会（その2）	調査鑑識
26	救急安心センターおおさかだより	救急課
26	災害概況	警防課
27	環状線	各所属
34	大阪の消防NEWS 堺市消防局・高槻市・枚方寝屋川消防組合・河内長野市各消防本部	
36	職務① 平成28年度「高圧ガス保安活動促進週間」の実施結果について	規制課
38	職務② 第4回大阪府下警防技術指導会	大阪府下消防長会
40	キセイカナビ 高圧ガス保安法第5条「製造の許可等」～昇任試験対策編～	規制課
41	大阪市防火管理協会からのお知らせ	編集部
42	秋の叙勲	人事課
44	高齢者叙勲	人事課
45	自衛消防隊紹介	中央区
45	女性防火クラブだより	平野区
46	大阪市消防局災害活動支援隊	総務課・警防課
47	健康ダイアリー 飲み薬とのつきあい方	人事課
48	大阪めぐり（表紙）・編集室	編集部

第4回大阪府下警防技術指導会

11月25日
高度専門教育訓練センター



平成28年度大阪市総合防災訓練（実動）

11月12日
舞洲消防訓練用地

南海トラフ巨大地震などの大規模地震の発生に備え、防災関係機関における連携体制を強化するため救出救護訓練や支援物資輸送訓練等が実施された。



平成28年消防局長による歳末視察

12月1日
高島屋大阪店



向吉 悠睦さんからの紹介 『 渡邊 明さんを訪ねて 』

神戸市で生まれましたが、親父の転勤ですぐに広島へ、さらに小倉を経て、小学校3年生の時に大阪の箕面市如意谷に移って来て、中学校、高校は北野高校で卒業するまで大阪におりました。大学時代は京都だったのですが、下宿をしていました。大学在学中に、アイ・デコ、ガレやドーム

ガラスとの出会い

を展覧会で観て、ガラスに興味を持ちました。その当時は、弟子入りするような大きな工房がなく、学ぶ学校も東京にしか所ありませんでしたが大学を出て更に下宿して授業料を払う事は出来なかったのであきらめ、大阪に戻って就職しました。

を自社で企画していません。最初は営業ではなく仕入れて、大阪にも当時は切子屋さんや十数軒もありましたし、吹きガラスの工場なんかも行かせて貰っているうちに、ガラスの素材や製法等の知識が身に付きました。当時は切子がブームで人気がありました。社内に職人さんが二人いて、外注できない難しい物や見本を作っていた所を覗きに行っているうちに、てん

た。ガラス加工を始めるようになり、外国にいる日本人を頼ってオーストリアのクラムザッハガラス工芸学校に留学させて貰いました。日本とは違う機械や道具を観たり使う事はいい勉強になりました。

ガラス加工



● 工芸家

わたなべ あきら
渡邊 明

プロフィール

Carrer

- 1959年 神戸市生まれ
- 1984年 京都大学文学部哲学科卒業
カメイガラス(株) 入社
- 1989年 オーストリア・クラムザッハガラス工芸学校留学
- 2008年 紫綬褒章 受章
- 2009年 京都府指定無形文化財
「切子硝子」保持者認定
- 2010年 「現代工芸への視点ー茶事をめぐって」
(東京国立近代美術館工芸館)
- 2013年 「伝統と創生 一京都府無形文化財保持者による」
(京都文化博物館)
「日本伝統工芸展 60 回記念
工芸から KOGEI へ」
(東京国立近代美術館工芸館)

Prize

- 1992年 第8回 伝統工芸第七部会展
朝日新聞社賞
- 第39回 日本伝統工芸展
日本工芸会会長賞
- 1994年 第23回 日本伝統工芸近畿展
大阪府教育委員会賞
- 1995年 第24回 日本伝統工芸近畿展
奨励賞
- 1996年 第25回 日本伝統工芸近畿展
近畿賞
- 2004年 第51回 日本伝統工芸展
日本工芸会会長賞
- 2007年 第21回 伝統工芸諸工芸部会展
文化庁長官賞

ご(※いたづら)で作っていたのが始まりで、そのまま制作部門に配属されました。

幻の薩摩切子

島津藩で、集成館事業の軍需工場で島津斉興公の時代に薬品を入れる容器としてガラス瓶を作ったのが最初で、その後には斉彬公が舶載品のカットガラスを元に作らせたのが薩摩切子です。会社には在籍している時には、薩摩切子の復刻も手がけていました。

今取り組んでいるのは

ガラスの加工には、水飴の様に溶けたガラスを



吹き棹に巻き取り息を吹き入れて成形する吹きガラスのように、熱を加えて加工するホットガラスと、切子のように常温でじっくりと時間を掛けて削ったり磨いたりするコールドガラスがありますが、積層切子は、これらの両方を使って制作しています。

- ① 板ガラスを加工、切り込みを入れます。
- ② 金粉、プラチナ粉、色ガラス粒（フリット）等を入れて二枚の板ガラスを電気炉で融着し、模様をサンドイッチします。
- ③ 窯から出して、再び模様を削り、金粉などをつめて、3枚目の板ガラスを融着し、以後、必要回数を繰り返します。
- ④ 型（陶器）に乗せて、電気炉で曲げ加工をして形を整えます。
- ⑤ 電気炉（700℃前後）から冷却をするのに、一週間くらい時間を

掛けて慎重にやります。

- ⑥ 冷却後窯出しして、ダイヤモンドホイール・砥石を使って形を削り出し、コルク・木盤・フェルトなどに研磨剤をつけて、手磨きをします。

薬品（フッ化水素酸と硫酸の混合液）に浸けて溶かして艶をだす酸洗いという方法もあるが、上質な光の効果を生むために、手磨きにこだわってやっています。

大きなものになれば、構想から仕上げまでに二か月以上はかかります。特に公募展の出品作品になれば、じっくり時間をかけた方がいいのですがなかなか思う通りにはいきません。

日本伝統工芸展

来年は、大阪難波の高島屋で2月16日〜20日まで開催されます。工芸展としては、全国で一番大きな展覧会です。公募ですから、初出品の新人でも入選し



て賞をもらう事もありまして、逆に役をしているベテランでも落ちる事があります。当たり前なんです。作品が全てですから真剣勝負です。

作品は多岐にわたります。陶器磁器の焼き物、染織（着物がメインですが帯や着尺）、漆器（輪島や四国他）、金属加工（彫金等）、茶釜（鋳物）、木製品（指物）、竹製品（組み等）、人形（愛玩用ではなく、文化や伝統を表しているもの）、諸工芸として、七宝、ガラス、

截金は悠睦さんの奥さんの中村佳睦さんの作品でもあります。

工芸では、あまりに実用的でない大胆な形や色使いが出来ないので、素材と技法の制約の中で、いかに技術の粋を極めて、使い勝手がよくてデザイン的にも新しいものを創り出して行かなければなりません。

文化の中で、工芸という視点を持って、工芸の存在意義をはっきり説明していかなければならないと思います。今までは当たり前だった事が、世代が変わると美意識や価値感にギャップができません。このギャップを埋めていく事が大切であります。

日本の風土に根ざして培われて来た伝統工芸を、劇的に変化をしていく現代生活の中に取り入れて貰う事が大事です。展覧会に足を運んで頂き、作品を観て頂いて、本物の良さを知って頂い

てファンになってもらえば、作者にとつて無上の喜びですし、次の作品創りのモチベーションが上がります。

生活をしていく上で必要なものを、沢山あるジャンルの中から選び出す。その中に、文化の歯車の一つとして工芸があり、「人間国宝」の作品も日常生活をより豊かにできるものである事を判つてもらえる展覧会にしたいと思っております。

技が国宝

戦後、皆の価値観が変わりましたが、法隆寺の金堂が焼失したのをきっかけに昭和25年に文化財保護法が制定されました。その時に、神社仏閣や建造物、書画、宝物、仏像等の物だけではなく、これらを作り出す技術や、歌舞伎などの芸能等の無形のものにも価値を見出し、保存すべきものとして、重要無形文化

財とした。その技術を体得している個人を、重要無形文化財保持者として認定しているのので、「人間国宝」と言うのはある新聞社さんが付けた通称です。

生活に根ざしたものを、それを創る技術も伝えていかなければ廃れてしまいます。そういう意味で工芸展の世話をさせて貰っております。雑用も多く大変ですが、師匠もなく、学校で学んだわけでもない私を育ててくれたのが、日本伝統工芸展であり、その運営団体である日本工芸会です。今は、恩返しのためです。やらせてもらっています。



.....お知らせ.....

大阪市消防局 メールマガジン会員募集

地域の防火・防災に関する情報をメールマガジンで配信!

大阪市消防局では、地域の防火・防災に関する情報を提供し、市民の皆様と情報交換を行うことにより、安心して暮らせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」の実現を図るため、メールマガジンを配信いたします。

◆ 配信内容

- (1) 各種行事のご案内
 - (2) 地域の防火・防災からのご案内 他
- 詳しくは、大阪市消防局ホームページをご覧ください。

大阪市消防局ホームページ
<http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/>



多くの方の登録を
待っています



お問い合わせ先：大阪市消防局予防部 予防課地域防災
 電話番号：06 (4393) 6332

コラムで、現代の世相を斬る！

コラムニスト藤井氏によるニュース解説と、その背景にうごめく時代の渦を照らします。

第33回

ボブ・デイラン旋風

◎コラムニスト 藤井 英一

2016年ノーベル文学賞
プロテストソング「風に吹かれて」が再び世界で注目を浴びるとは、夢にも思わなかった。

1963年に発表されたスイングガー・ソングライター、ボブ・デイランさん(75)のフォークソングのことである。蘇らせたのは、2016年ノーベル賞選考委員会だ。昨年10月、文学賞に米国のデイランさんを選んだのだ。

すぐに「文学賞は小説や詩、評論が対象ではないのか」との反応が起きた。今度こそ村上春樹さんの受賞を願っていたハルキストたちの落胆もあった。さらには、肝心のデイランさんの受託コメントがノーベル財団にすぐ伝わらず、一時は「私のサルトルさん以来の辞退か」との憶測まで世界を駆け巡った。

時代つかんだ「風に吹かれて」

サンデー毎日「ボブ・デイランの基礎知識」によると、ミネソタ大
学中退後の1962年にデビュー。翌年、セカンドアルバム「フリー
ホーリン・ボブ・デイラン」に収録された「風に吹かれて」が、世
界の若者の心をつかんだ。ベトナム反戦運動やその後の学園闘争の時
代、日本でも歌い継がれた。エレキサウンドやロックもこなし、アカ
デミー歌曲賞やピューリッツァー賞も得ている。楽曲数は600作品
以上、総売り上げ枚数は1億枚超という。

感動した大阪公演

1978年から8回来日。そのうちの一回、大阪でのコンサートに参
加したことがある。当時70歳近いデイランさんは口ひげを蓄えていたが、
細身のズボンと長髪は往時と変わらない。1時間半、ひとりで歌い弾き
終えた。幕が降りても、アンコールの嵐。再登場したデイランさん、な
んとそれから1時間半も舞台で演じたのだ。観客は総立ちで応え、とも
に歌った。こんな感激豊かな年になつてもらいたいな！2017年は。



イラスト：山田いつか

昨年11月、ダライ・ラマ法王14世(81)が来日し高野山大学(和歌山県高野山町)で学術交流をした。また、病氣療養中のキューバ革命の父、フィデル・カストロ元首相が90歳で亡くなった。この両雄が世界に衝撃を与えたのは1959年のこと。武装蜂起したカストロ率いるゲリラ部隊は1月1日、それまでの親米政権を倒し反米政権を打ち立てた。僚友にボリビア出身のチェ・ゲバラがいた。ダライ・ラマ法王は3月、中国からのチベット独立を表明したが失敗、ネール首相のはからいでインドに亡命。以後、南インドから世界に対し57年間、独立に向けた発信を続けている。「武装蜂起」と「非暴力発信」。国を形づくる手段は違えども、二人のカリスマのエネルギーがシユな活動から、この半世紀余の世界史が浮かび上がってくる。

「昭和」24面相

ジャーナリスト
信濃文

の中、医療と教育を保証し、自らを偶像化しないカストロ首相の清貧スタイルが威力を発揮したのかもしれない。胸を熱くする演説も、独裁批判を軽くしたともいえる。ゲリラ服で葉巻をくわえる

髭面の大男であった。政権を受け継いだ弟とオバマ政権の間で、電撃的な国交回復合意ができた直後の旅立ちだった。

髭面の大男であった。

4度目の学術交流

4度目の学術交流

臍色の法衣姿に絶やさぬ笑顔で世界に語りかけるのが、ダライ・ラマ法王のスタイル。革命家の勇ましいアジ演説ではなく、絶えぬ笑顔から分かりやすい言葉が物静かに語られる。時にはチベット独立の必要性和その支援を訴え、時にはチベット密教の奥義を伝える。大衆の声にじっくりと耳を傾け、聴衆との「Q

1959年

ダライ・ラマ&カストロ

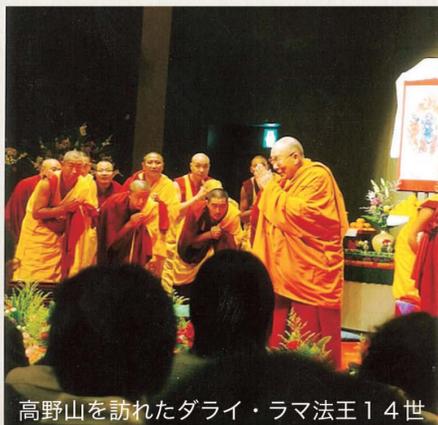
【第21回】

一「触即発」キューバ危機

キューバの反米政権樹立は、米ソを盟主とする東西冷戦時代の真つただ中で起き、米国のど元突き付けられた社会主義の刃ともいわれた。様々な介入を仕掛ける米国に対し、カストロ首相もソ連の力を背に反応。キューバへの核配備をめぐる、ケネディー政権は海上封鎖、第3次世界大戦寸前まで事態は深刻化した。

1991年にソ連が消滅しても、カストロ首相のキューバは生き残った。決して物質的に豊かでない環境

「インド亡命」「反米国家」57年



高野山を訪れたダライ・ラマ法王14世

&A」を重視する。実に間口が広い。1989年にノーベル平和賞を受賞。昨年11月14、15の2日間、高野山大学松下講堂での学術交流に臨んだダライ・ラマ法王。同じ密教が縁となり、1980年、2011年、2014年に続き今回で4度目。灌頂(かんじょう)キリスト教の洗礼にあたる)や講演を取材した第一印象は、半世紀を超す「活仏」の圧倒的な求心力。しかも、権威を振りかざすことは皆無。時として「エヘ」と人懐っこい笑みを見せ、聴衆の心をギュッとつかむ。

「非暴力発信」と「武装蜂起」

〰️事件〰️30分前倒し講演

2日目の午前9時開会予定の講演会で「事件」が起きた。早く会場入りしたダライ・ラマ法王が、集まり始めている聴衆を見て、予定になかった「Q&A」をしようと持ち掛けた。喜んだのが聴衆。瞬く間に質問希望の長蛇の列。こうして、予定



左端の松長有慶・高野山真言宗前管長と語るダライ・ラマ法王14世(左から二人目)

より30分早く講演会は始まってしまったのだ。「Q&A」は1時間半近く続き、通訳され大盛り上がり。この後、予定していた講演も1時間近くこなしした。

初日の灌頂は、正午から。ステージにダライ・ラマ法王が姿を見せると、聴衆は立ち上がり手を合わせて迎えた。中には床に額かぶついて歓迎する婦人の姿も。厳肅な灌頂の後、法話。旧知の藤田光寛・学長や松長有慶・高野山真言宗前管長らもステージに並ぶ。

「密教の教えは、大きな心の器を求めている。密教修行は、万物を慈しむ解脱の境地を目指す。一切衆生を悟りの境地に導いていかねばならない。そんな思いで本日の灌頂をした」などと、ダライ・ラマ法王はよく通る声で語りかけた。隣りの松長・前管長らがうなずく。

■大衆ファースト

粘り強く世界に発信し続けてきた日々。非暴力、分かりやすい論理、身についたわけ隔てのない対応。宗教者の持つ心の広さが、57年間の活動を支えてきたようだ。2日間の日程で気づいたことは、大衆ファーストということ。主催者や警備陣をあ

わてさせたものの、講演会での予定外の「Q&A」実践も、面目躍如たるものである。穏やかだが粘り強い劇場型リーダーなのである。

中国で密教を学び帰国した弘法大師空海が、1200年前に開創した高野山真言宗。その教えを学び伝えるのが、2016年度で開学130年を迎えた高野山大学。かたや、ダライ・ラマ法王はその中国に対し、チベットの独立を目指してあの手の発信を続けて来た。

■聞いてみたかった

ダライ・ラマ法王、カストロ首相が新たな道に踏み出した1959年。日本では岸信介・政権で、折しも翌年の日米安保条約改定をめぐり、反対デモが動き出した。9月に伊勢湾台風が猛威をふるい、10月には皇太子(現在の明仁天皇)ご成婚した年である。

カストロ首相に会ったことはないが、予定外の「Q&A」が分かっていたらダライ・ラマ法王に是非聞いてみたいことがあった。「カストロさんの57年間で、どうお思いですか」

災害時の飲料水の確保



かんじょう よしのり
貫上 佳則

大阪市立大学大学院
工学研究科
都市系専攻教授

将来、大阪市での発生が予測されている地震のうち、想定被害が最大の地震は上町断層帯地震です。阪神淡路大震災の場合と同じ直下型地震であるこの地震が発生すると、大阪市内のほとんどの地域は震度6弱以上で、市内中心部では震度7に及ぶことが想定されており、阪神淡路大震災よりも大きな被害が発生すると推定されています。

このような直下型の大震災が起こると、地下に埋設されている水道管も大きな被害を受けることになり、大阪市水道局では震災直後には断水率が77%に達すると試算されています。そのため、水道局では避難場所に写真のような仮設水槽を設置したり給水車を派遣したりして被災者の飲料水を確保するとともに、破損した配水管の修復を順次行うことを計画されています。しか

し、震災直後には沿道の建築物の損壊による障害物や火災の発生、通行車両の大混雑などにより、避難場所まで給水車を派遣したり仮設水槽や給水栓などを運搬することが困難となる可能性が指摘されています。

また、市内には小中学校の体育館など、避難生活を送る事ができる災害時避難所が約550カ所指定されており、食料やペットボトルが一定量備蓄されています。しかし、昼間に発生した場合、周辺地域から大阪市内のオフィスや学校に通勤・通学で移動されている方も一時的な避難者となるため、避難所が大混乱して備蓄水があつたという間になくなる危険性も想定されます。

さらに、震災直後には市内で火災が発生する可能性が高く、この消火用水を確保することも非常に重要となります。阪神淡路大震災では消火用水が十分に確保できずに類焼火災が多く発生したと報告されています。ただ、消火用水の必要量の算出はかなり困難であり、大阪市での給水能力と防火水槽の貯水量を上回る試算例もあることから、防火水槽や水道水以外の水源(た



仮設水槽による応急給水の様子

たとえば工業用水や河川水、地下水など)の活用も検討すべきです。このように、震災直後の生活用水を自治体のみに頼ることは難しく、このコラムNo11で由田先生がご指摘されたとおり、各家庭や地域で生活用水を備蓄することが不可欠です。実際、4人家族の場合、1週間分の飲料水(合計84リットル)を備蓄するとすると、2リットルのペットボトルが合計42本も必要になり、毎日2リットルのペットボトル6本入りの箱が空になる勘定となります。これらの置き場所だけでも大変ですが、最低でも3箱(3日分)の飲料水を備蓄しておくことが望まれます。



防災体験アトラクション LIFE LINE

- ・防災訓練、貴方は-どんなイメージ？
- ・その防災訓練で本当に助かるとは思いますか？

私は国際災害レスキューナースとしていつも疑問を感じている。

予告想定されたことで、整列して外に逃げる。運動場に出たら点呼。そこから消火器のシミュレーション。みんな半笑いでダラダラ歩きながら外に出る。

標語は「お、は、し」おさない、はしらない、喋らないこれで本当に助かるのか？

エンターテインメントとして、様々な脱出アトラクションを全国で展開してきたフラップゼロと私はタッグを組みその経験をもとに脱出アトラクションの面白さはそのままに、さらに災害現場や避難所でのシーンでの「防災シミュレーション」として活用できる、日本初のプログラム「ライフライン」を完成させた。

■防災体感アトラクションとは

地震・大雨・噴火・津波・・・など、自然災害が多発している今、一人ひとりが防災の意識を持つことがこれまで以上に重要となっている。

いつもと変わらない、日常・・・。

しかしいきなり崩れてしまうのが被災。

それは、まるで、映画の世界の話のようで、理解するまで時間が止まったままだった。でも・・・現実だった・・・そこからどうやって逃げるのか？隕石衝突まで残された時間はわずか・・・。迫り来る時間の中、家族で、仲間同士で協力しあい、無事に、災害現場から脱出せよ！

そんな世界観の中で防災に必要な知識

の活用、柔軟性、チームワーク、コミュニケーションを試される防災アトラクション脱出ゲーム。

私は「防災は面白くレクチャー」が大事だと思っている。

大阪南港ATCには常設があり、今後は全国展開していく予定だ。

ぜひ一度体験していただきたい。

緊急警報発令

LIFE LINE

2015.8.2

参加無料

日本初！防災シミュレーション 体感型 脱出ゲーム 姫路初公演！

突然現れた巨大隕石、地球までの到達時間は約1週間。衝突すればさまざまな災害が起きるのは避けられない！その時に備え、無事にこの危機を乗り越えるのだ！

■日本初！『防災シミュレーション用 体感型 脱出ゲーム』とは
緊急警報が発令された瞬間、自然災害が襲ってくる。17分間の脱出時間の中で、自分たちの命を救うために必要な知識とスキルを駆使して、脱出を目指す。アトラクションの面白さと防災の重要性を同時に学ぶことができる。隕石衝突まで残された時間はわずか。迫り来る時間の中、家族で、仲間同士で協力しあい、無事に災害現場から脱出せよ！

公演情報

開催日：2015年8月2日(日) 参加無料 事前予約あり 家族に合わせたチケットあり

会場：姫路南港ATC 17:30開演 18:00閉演

公演時間：17:30開演 18:00閉演

観覧料：大人1,500円 小学生以下500円

予約電話：079-234-7082

お問い合わせ：株式会社 フラップゼロ

お問い合わせ：株式会社 フラップゼロ
TEL:079-234-7082
FAX:079-234-4320

様々な事案から災害活動を振り返る



北方面隊

本事案は、大阪市北部の河川に架けられた橋の上から男性が転落したもので、最先着消火隊と後着救助隊が相互に連携し、迅速かつ冷静な判断のもと、緊迫した状況に置かれた要救助者を救出した水難救助事案である。

今回のテーマ

一刻の猶予もない救助活動



災害概況

- 発生日時 平成28年8月午前10時頃
- 発生場所 淀川河口
- 気象状況 天候「晴れ」気温「30℃」



水難救助指令により出場

橋の中央付近の河川に人が浮いているとの警察通報により出場した。

最先着したN消火隊は、災害点付近で警察官の誘導を受け停車した。

警察官が指差す水面までは高低差が約8mあり、仰向け状態の要救助者は今にも水中に飲み込まれそうであり、徐々に下流へと流されていた。

小隊長は直ちに大消本部と後着隊に現状を無線報告するとともに、要救助者に呼びかけをするも応答はなかった。

隊員に救命浮環の投入準備を実施させていたところにK救助隊が現場到着した。

K救助隊長は要救助者を確認後、N消火隊へ水面監視及び救命浮環の降下を依頼するとともに、要救助者の緊迫し

た状況から一刻も早く確保する必要があるとの判断で隊員に懸垂降下準備を指示した。同時に大消本部への状況報告及び後着救助隊へ、はしごクレーン救助の準備を指示した。

迅速に橋の欄干に懸垂ロープを設定したK救助隊は、直ちに隊員1名が橋上から懸垂降下で入水し下流へ10m程度流されていた要救助者を確保した。

隊員は、N消火隊が降下した救命浮環を活用して呼吸管理及び意識レベルの確認を実施しながら、水没防止のため要救助者にライフベルトをつけた1次確保ロープを取り付けた。

一次確保とほぼ同時に後着の警察艇が到着したことから、警察官の協力を得ながら警察艇上に引揚げた。

なお意識レベルは3桁で

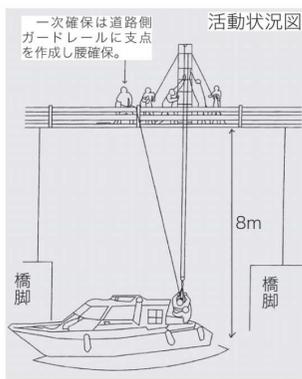


あった。

救出方法の選択

現場周辺の河川敷にはテトラポットが配置されており、警備艇は接岸できず、災害点から約2km離れた漁港であれば接岸可能であるとの情報を得た。

K救助隊長は、漁港で救急隊とドッキングするか、または要救助者を橋上に救出するかを選択肢が考えられたが、要救助者の意識状態等を考慮すると速やかに病院搬送する必要があり、さらに後着救助隊がはしごクレーン救助の準備が完了していたことから橋上へ引揚げた方が最善であると判断した。



救出方針が決定すると橋上において救助隊と消火隊は、梯子の確保や安全な活動スペースを確保するなど緊密な連携をとりながら、安全かつ迅速に要救助者を救出した。今回の緊迫した状況のなかで、要救助者を安全かつ迅速に救出したポイントは次のことが考えられる。

【先着消火隊の活動について】

(1) N消火隊は、早期に先着警察官から情報を聞き込み、災害発生場所及び要救助者の状況を大消本部に無線報告し、後着隊との円滑な活動を促した。

(2) 要救助者の監視を常に行いながら、呼びかけを継続するとともに、救命浮環の準備を実施し、後着救助隊と連携を図り迅速な要救助者の救出に協力した。

これらのように要救助者の水没が差し迫った状況の中、最先着消火隊としての確に現場情報の聞き込み等を行い、後着救助隊との連携を図りながら、日頃培った訓練の成果

を最大限に発揮した活動を実施した。

【K救助隊の活動について】

(1) K救助隊は、時期を失すことなく現場の状況を無線報告し、後着救助隊へ活動方針を徹底したことにより救助活動を円滑に進めることができた。

(2) 救出活動において、要救助者まで高低差8m、橋から下流へ10m流されており、いつ沈んでもおかしくない緊迫した状況の中、安全、確実かつ迅速に入水救助隊員による要救助者の確保を『現場到着後2分』で実施し、早期に呼吸管理及び意識レベルの確認を行った。

(3) 要救助者の意識レベルが悪い状況から判断し、後着救助隊と連携を密にし、はしごクレーン救助による橋上へ引揚げること、早期に救急隊に引き継ぎ、迅速に病院搬送することができた。

これらの隊員相互の連携や日頃培った技術をいかに発揮したことにより、要救助者を早期に確保、救出に至っ

たものである。

おわりに

今回取り上げた事案については、水難事故の特性を十分に把握し、各隊員、各小隊相互に連携を密にするとともに、一刻の猶予もない要救助者を現場到着からわずか2分という短時間に確保し、適切な状況判断により要救助者を救出するに至った模範的な活動であった。

水難事故は、要救助者を救出するための時間的猶予がなく、活動方針の決定と救助活動着手を迅速に行わなければならないことが特徴である。

河川においては要救助者が事故発生場所から川下に流されていることもあり、特に増水等により流れが速い中ででの活動は、安全管理体制の確保を主眼とし各隊緊密な連携のもと活動しなければならぬことを強く意識し、今後も研鑽していただきたい。

(文責 橋本)

調査 鑑識

子防部子防課

平成28年9月16日に、平成28年度大阪市火災調査事例発表会が消防局の7階講堂で開催され、各署の応募事例から選ばれた5事例が発表された。先月号に続き、今回は2事例を紹介する。

今回のテーマ

平成28年度 大阪市火災調査事例発表会(その2)

発表要旨

事例2
「IH調理器での天ぷら油火災について」



東淀川消防署
消防司令補 山崎 郁生
消防司令補 吹春 圭一

近年、IH調理器での天ぷら油火災は稀に発生している。大阪市内では過去3年間で見ると11件となっており、平成28年中にあつては7月末の時点ですでに7件発生している。世間的には安全とい



イメージが強いIH調理器で、なぜこれほど火災が発生しているのか。IH調理器火災での発生の経過を見てみると、「火気取扱者が調理中に「忘れる・放置する」ことにより出火に至っているものが多い。IH調理器には温度調節機能がついているはずなのに、なぜ温度センサーが働かなかつたのだろうか」という疑問から検討していく。

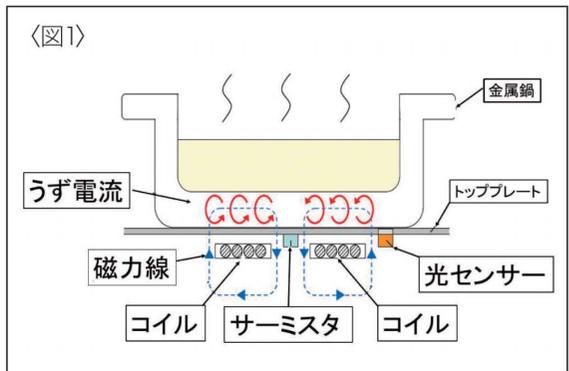
IH調理器は、電磁誘導加熱という現象を利用して(図1)。トッププレートの下にはコイルが設置されており、ここに高周波電流を流すことで磁力線が発生する。この磁力線がプレート上に置いた鍋底にうず電流を発生さ

せ、鍋の持つ電気抵抗によって鍋自体が発熱するという仕組みである。温度検知はサーミスタという温度センサーによって、鍋底の温度を検知している。また最近では光センサーで検知する方式に代わってきている。

IH調理器の取扱説明書では、まずその場を離れないこと、揚げ物調理時は専用の鍋を使用すること、油量は500ml以上と指定されている。

過去の火災事例を見てみると、専用鍋を使っていなかった、説明書で指定された油量より少なかつた、揚げ物設定で調理していなかつた等、間違つた調理方法で調理していたのがわかる。

そこで、一般市民を対象に簡単なアンケートを実施した。結果をまとめると、IH調理器は火を使わないから安全というイメージが強く、専用以外の鍋を使用したり、油量が指定されていることを知らずに少ない油の量で調理したりと、使用方法、注意事項を十分に理解していない方が多く、また、発火した時の消火方法を知らない人も意外に多いということがわかつた。



類似火災の防止

IH調理器は、ガスこんろや電気こんろのような炎や赤熱部を使わないことや、立ち消えや不完全燃焼の心配がないことから、安全性の高い調理器具という認識がある。しかしながら、天ぷら等揚げ物調理中の発煙・発火事例が少なくない。その原因は放置したことによるだけでなく、その使用方法等も起因しており、油量の少なさだけでなく、適切な鍋を使用していなかつたために過熱防止装置が働かなかつたと推測される事例も

ある。このことから、注意喚起もまだまだ足りないのではないかと考えられ、今後も防火訪問などを通じて、パンフレット等も活用し、H調理器の使用上の注意点をさらに周知していかねばならない。

事例3

「火源のないところからの出火」聞き込みの重要性」



北消防署
消防司令補 伊豆原武士
消防司令補 井上 将行

【発生日時】

平成28年3月 17時ごろ

【建物構造】

鉄骨鉄筋コンクリート造
10階建共同住宅

【焼損程度】

共同住宅一室居室内において、天井側壁3m、床若干及び内在品焼損。

【現場見分状況及び居住者の供述】

写真1のとおり1mほどの高さの壁面から天井の一部にかけて焼きしており、レンジ台の周囲の壁には強い焼きや焼残物が見分されるが、3口ガステーブルや鍋の周りには焼

きは見分されず、明らかな火源となるものは見分されない。

一方、居住者の供述では、初期消火や通報については明確に答えるものの出火場所付近には火災の原因となるものに心当たりがないとのことであった。

【出火原因】

実見見分及び居住者の供述等の情報から、放火、たばこ、電気関係、ガスこんろからの出火の可能性は低いと考えられた。

次に、火元住人からの聞き込みには、火災発見から初期消火・通報の内容には何ら不審なところは無かった。そこで、火元住人の普段の行動についても丁寧に聞き込んでみると、毎朝鉄瓶で白湯を作ると、鉄瓶は熱いので布巾を使用して持つ（写真2参照）が、布巾は使用後、出火場所付近にあるタオルかけにかけると



写真1 現場の状況

のことであった。火災が発生した日も、普段と同じように行動していたため、布巾に着火していたかわからないとのことであったが、仮に着火した布巾を気付かずタオルかけにかけた場合（写真3参照）、焼け落ちた布巾がその下方にある焼失したポリ袋やその下の段ボールへと延焼し、焼きの強いレンジ台の南面及び食器棚の北面から立ち上り扇状に上方へ焼きした可能性が高いと考えられた。これらのことから、出火原因はガスコンロと判定した。



写真2 鉄瓶の持ち方復元状況

本事例からの教訓

出火場所付近を詳細に見分しても、出火原因と考えられる物証はなく調査が難航するような事案であっても、関係者の行動を丁寧に聞き取ることで、出火原因を特定できることもあり、聞き込みの重要性を改めて認識する事案であった。本人も消防隊から詳細に聞き込みをされることにより、やっと思い出したような内容であり、通り一遍の聞き込みを行うのではなく、視野を広く持ち柔軟に聞き込むことも調査活動において重要であると改めて考えさせられた。さらに、事案に応じて効果的な聞き込み方を意識することも必要であることを感じさせられた事案であった。

（次号へ続く）（文責 竹田）



写真3 タオルの復元状況



皆様、新年明けましておめでとうございます。

2017年を迎え、初回の今月は、救急安心センターおおさかに相談後、119番に転送され緊急入院となった事例のうち、冬季に流行する病気で最も多い「インフルエンザ」についての事例をご紹介します。



【事例1】

72歳男性：2日前から発熱が続き近くのクリニックで風邪との診断を受けるも、高熱が続き治まらない。⇒インフルエンザ

【事例2】

32歳男性：4時間ほど前から高熱が生じ、その後錯乱状態となった。⇒インフルエンザ脳症

これらは昨年1月頃の事例で、いずれも看護師からの迅速な119番転送により救急車が出勤し緊急入院となりましたが、病院搬送後の適切な治療により、後日軽快退院となりました。

●救急安心センターおおさかからのアドバイス

インフルエンザは、主に空気が乾燥し気温が低い冬季に多く発生するとともに、流行性が高く、また【事例2】のように脳症を合併する場合があります。ウイルス性の病気です。

主な特徴は、(1)「感染経路」：唾液等の飛まつ、(2)「潜伏期間」：24～48時間と比較的短い、(3)「主な症状」：高熱・激しい喉の痛み・頭痛・関節痛等 (4)「その他」：小児・高齢者・基礎疾患のある方などは、肺炎等を併発し重症化する場合もあり、一般的に一旦発症すると、薬を服用してもすぐに解熱せず、改善までに約1週間程度を要する病気です。



自身でできる身近な予防策としては、日常生活における手洗い・うがいの徹底、室内の適度な加湿、外出時におけるマスクの着用等が挙げられますが、少しでも身体の異常を感じたら「救急安心センターおおさか」等を活用するなど、早期の対処に心がけてください。

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
11月中合計	4	0	16	39	59	8	0	0	14	81
平成28年11月末累計	22	17	148	364	551	60	0	3	151	765

◎救急概況

	救急出場
11月中件数(概数)	18,685
平成28年11月末累計	205,153

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
平成28年11月末累計	2,841	1,017	9	1,140



環状線

LOOP LINE



カラーページとなりレイアウトも大幅に変わりました。コンセプトは、見やすく読みやすくです。各署のホットニュースをご覧ください。

Pick Up

北

一日消防署長 ～竹崎由佳アナウンサー～

11月9日、カンテレ扇町スクエア及び扇町公園一帯において消防局と合同で、平成28年秋の火災予防運動オープニングイベントを開催した。

関西テレビ放送でおなじみの女性アナウンサー竹崎由佳さんを一日消防署長に迎え、広く市民への火災予防と併せて災害に強い街づくりの推進を呼びかけた。

寒さが厳しい中、カンテレ扇町スクエアの4階バルコニーで逃げ遅れ、助けを求める役に扮する竹崎さんを高所

作業車（LT3）で救助隊員が救出するところからイベントが始まった。

その後、一日消防署長に任命され、当イベントに駆け付けた未来の消防士セイバーミライとともに起震車に乗り込み、地震体験や消火訓練を行い、日頃のそなえの大切さを広く呼び掛けてもらった。

今回の竹崎由佳一日消防署長によるオープニングイベントは大盛況で、最大の火災予防のPRとなった。（大橋）



此花

此花区民まつり

10月23日、西九条コミュニティ広場で此花区民まつりが開催されました。

当署からは、ミニ消防車・消防こども服装体験コーナーや、折り紙・ぬり絵コーナーを設けたところ、消防こども服を着てミニ消防車に乗っての記念撮影に長い列ができ、大変にぎわいました。

消防コーナーを訪れた市民の方々に防火の重要性を伝えることができ、有意義な一日となりました。(品川)



都島

救命処置に感謝状

9月上旬、都島区の太閤園において「利用者の60代男性が急に倒れました」という知らせに駆けつけた従業員の寺脇さんは、脈拍、呼吸などの確認をして、心停止と判断。居合わせた長辻さん、赤池さん夫妻、吉田さんの5人で救急隊到着まで胸骨圧迫の処置を実施されたお陰で、男性は救急隊到着時には心拍は再開し、約3週間の入院を経て回復し無事退院されました。この活動に対し福井署長から「感謝状」の贈呈をしました。(岩本)



中央

中央区民まつり

10月16日、難波宮跡公園で第28回中央区民まつりが開催されました。当署は、ミニ消防車の展示、防火衣の着衣、写真撮影を行いました。ご来場いただいた方々は、家族や友人で防火衣を着衣し、楽しそうに写真撮影されており、良い思い出を作っていただけなら幸いです。このような機会を通じて、市民の方に少しでも消防に興味を持っていただき、より一層の火災予防の普及啓発に繋げていきたいと思っております。(高橋)



福島

第42回福島区民まつり

秋晴れの10月29日、下福島公園で福島区民まつりが開催されました。当署も消防コーナーとして出展し、ミニ消防車の展示、防火と予防救急の広報活動を行いました。中でも人気を博したのは、子ども用防火服の着衣体験でした。かわいらしい消防士達が楽しそうに敬礼する姿に、記念撮影する保護者さんも笑顔にあふれ、その親子の微笑ましい様子は、署員のみならず周囲の来場者にとっても、天気と同じく心晴れやかなものだった。(山崎)



大正

土曜日授業で救命入門コース！

10月22日、南恩加島小学校で救命入門コースを実施しました。今回は土曜日授業として、小学5年生55名に胸骨圧迫とAEDの使い方を学んでもらった。ボジョレーのDVDを見ながら、あっぱくんを使用しての訓練。皆緊張した面持ちで、真剣に取り組んでくれました。今後も各種救命講習を受け、家族や友人が心肺停止状態に陥ったとき「自分にも助けることができる」という勇気と自信を身につけて欲しい。(増田)



西

日々奮闘！！

予防実務研修中の宮下士長(司令課)と矢尾士長(西消防署警防1部)が1か月という限られた時間の中で日々、立入検査や違反処理、また自己研鑽を行い予防業務に関する知識を高めています。特に立入検査では時には厳しく、時には懇切丁寧にメリハリのある指導が印象的でした。持ち場に戻っても研修で学んだ知識を生かしてもらえればと思います。(柴田)



天王寺

天王寺消防署へようこそ

10月より新たに教育生として新人消防士4名が当署の一員となった。ホース延長など基本的な訓練はもちろん、実災害を想定した高度な訓練にも積極的に取り組んでいる。先輩方の経験談を聞くその目は、熱意と意欲に満ち溢れており、様々な知識・技術を少しでも早く吸収し、先輩方に追いつこうと日々励んでいる。その姿に刺激を受け、署員一同もさらなる高みを目指し精進したい。さあはばたけ！未来の大阪消防を担う若人よ！(伊森)



港

危険物防火協議会合同研修会

10月28日に中村会長をはじめ会員事業所から多数の参加をいただき、和歌山県の「稲むらの火の館」において研修会を開催しました。館内には防災体験コーナーや展示室があり、近い将来に高確率で発生が予想される大地震への対策を認識することができた。中でも3D映像シアターは実際に津波が襲ってくるような臨場感があり、参加者の真剣な眼差しを見るにつけ、力強い防災につながる研修会となった。(奥村)



淀川

消防署開放デー

10月30日、消防署開放デーを実施しました。お子様連れを中心にたくさんの方が足を運んでくださいました。様々な体験コーナーを通して区民の皆様防火について関心を持って頂くと共に、消防署について知っていただくよい機会となりました。今年は新たにロープ登はん体験コーナーを設け、たくさんの方に体験していただきました。そして毎年恒例のセイバーミライショーでは来場者から大きな歓声をいただきました。(中辻)



©TOMY「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

浪速

自衛消防協議会の技術競技会

今年も自衛消防協議会の技術競技会が開催されました。火災の発見→通報→消火器による初期消火→屋内消火栓による消火という流れで、3人1組での訓練を実施しました。

参加する事業所のみなさんは熱心に訓練され、隊長と隊員の間で「放水はじめ!」「放水はじめよし!」などといった声の掛け合いがガレージに響き渡り、とても活気がありました。もしもの時は、みなさんの活躍を期待しています。(美濃部)



東淀川

事業所で防災訓練実施

株式会社資生堂大阪工場で、従業員750名参加の合同防災訓練を行った。地震発生に伴い、工場内で火災が発生したという想定で、出火場所で実際に消火器を放射したり、救助袋を使った避難訓練を取り入れるなど、従業員一丸となって取り組む姿が大変印象的であり、これを見た消防隊も自然と力のある有意義な訓練となりました。(中谷)



西淀川

に～よん、火災予防を訴える

11月9日、JR東西線御幣島駅で「秋の火災予防運動」の一環として街頭広報を実施しました。今回の広報には特別に西淀川区のマスコットキャラクターである「に～よん」が参加してくれた。実は、「に～よん」は当署において10月にレスキュー隊員としての厳しい訓練をクリアしており、今回は予防係員として市民の方に火災予防を呼びかけた。今後も防火防災に協力していただきたいものだ。(岡藤)



旭

3度目の夏に向けて

本年の救助技術錬成会「はしご登はん」において、12秒94の好成績で近畿地区指導会へ出場することになった守本土長は、今回で3度目となる。しかし全国大会への出場は、今だに叶わず、年明けから始まる半年間の強化訓練を実りあるものとし、近畿地区指導会ではもちろん、杜の都仙台で行われる全国大会で、実力をいかに発揮し、頂点をその手にしてもらいたい。(片岡)



東成

東成消防署フレンドシップデー

11月3日、昨年に続き、当署において「東成消防署フレンドシップデー」を開催した。この催しは、東成区がひとつとなつて各地域でそれぞれの催しを展開する「ひがしなり街道玉手箱」のひとつとして企画したもので、今年は、北中道と太鼓クラブ「飛童」と相生中学校吹奏楽部にオープニングを盛り上げて頂きました。多くの方々にも来署して頂き、防災、減災について考えるひと時となった。

(田中)



城東

自衛消防技術の向上

10月7日晴天の中「平成28年度城東自衛消防技術競技会」が開催され、15事業所71名が参加し、各事業所が培ってきた訓練の成果が遺憾なく発揮された。女子消火器競技では3年連続優勝中の事業所が見事4連覇を達成。その他の競技も良く訓練された素晴らしい操法を披露され、自衛消防隊として頼もしい限りであった。今後も各事業所と連携し、地域の防火防災能力向上に努めていきたい。(山本)



生野

〇?×?

11月5日、消防署開放デーを行った。これまで開放デーを2回開催し、どちらも大盛況であったが、今年は過去開催した開放デーからさらに発展させたいと〇×クイズ大会を実施した。署員に対し問題の募集を行ったところ、60問以上の問題が集まり署員全員で作った開放デーになった。当日は多くの方が来署され、〇×クイズの答えに驚く姿などが見られ、大いに盛り上がり防火意識の向上にも繋がった。(魚岡)



住之江

AEDで社会復帰

「人が倒れた!」小学校の運動会において警備員が突然バタン。目撃した生徒の保護者と教職員がいち早く駆け付け119番するとともに胸骨圧迫に着手、AEDによる電気ショックを1回実施したところ、意識まで回復するという見事な救命処置が行われた。その場に居合わせた人の迅速な処置の効果と必要性が証明された行動で、救命処置を施した保護者と教職員の功績を称え、先日、北野署長から感謝状が贈呈された。(木村)



鶴見

連携プレー

「おーい!ここにいるぞ」地震発生後いち早く巡回に出た地域防災リーダー達は、倒壊家屋の下敷きになっている要救助者を発見し直ちに救助に取り掛かった。後着した消防隊も加わり、両者の動きが絶妙に噛み合い、安全確実に迅速な連携プレーで要救助者は救出された。

これは、先日実施された鶴見区震災訓練の一コマである。日頃からの消防との訓練成果が出た救出劇であった。(岩川)



住吉

防火図画、姉弟優秀賞受賞

消防局が主催する防火図画表彰において、住吉区大空小学校の1年生 澤田 大知くんの作品が応募作品46468点の中から優秀作品に選ばれました。実は大知くんのお姉さんも昨年度、優秀賞を受賞されており、家族全体で熱心な防火啓発に取り組んでいただいている様子が想像でき、特に消防の大ファンという大知くん、そのことが一枚の絵から十分に伝わってきました。

“好きこそものの上手なれ” (広永)



阿倍野

迅速な初期消火に感謝状

10月14日午前8時30分ごろ、マンション2階のベランダで発生した火災において、1階の事務所で仕事をしていた小野田さんとご近所で仕事をしていた塩田さんの2人が火災を発見し、お互いに協力して消火を実施しました。もし消火が遅ければベランダから室内及び上階へ延焼し負傷者も発生する恐れがありました。この積極的かつ迅速な消火活動により被害の軽減に尽くした功績に対して、署長から感謝状が贈呈されました。(松窪)



西成

鶴見橋商店街で街頭広報実施

吹く風の中にも冬の気配を感じる11月9日、恒例の秋の火災予防運動のオープニングイベントで街頭広報を実施しました。商店街理事長、連合町会長、女性防火クラブ員、地域の方々、職場体験学習の中学生にもご協力頂き、「レスキューパングたすける」を先頭に、火災予防運動と火の用心を呼びかけました。買い物中の方が写真撮影をするなど、火災予防運動の効果も抜群であった街頭広報でした。(高田)



東住吉

新年のために

10月下旬、管内の公園で3町会合同の防災訓練が行われました。訓練を計画された町会長さんは「ここで実施することが町内の意識を高めることになる」と強く要望されていました。倒壊した家屋に挟まれている人を救出、搬送する活動での気づきをテーマに、「できること、できないこと」を共通認識として持ちました。今年もこの時期に訓練されたことで結束を確認でき、新年を迎えることができそうです。(岡)



水上

港区民まつりで火災予防啓発

10月9日、港区八幡屋公園において「港区民まつり」が開催された。当日は晴天に恵まれ、多くの市民の方々が参加された。港消防署との共催で開設した消防コーナーにおいても、ミニ消防車・FJクルーザー・セイバーミライとの記念撮影、起震車での地震体験などを通して、多くの市民の方々と触れ合うことにより、火災予防の啓発活動の一端を担うことができた。(堀尾)



平野

女性防火クラブ員研修!

9月15日、加美北連合内の地域交流センターにおいて、女性防火クラブ員研修の事前講座「防災講話・視聴覚研修・消火器の使用方法」を実施し、皆さんに研修を受けて頂いた。研修後の中で「家の家具倒れないように、何かしてはる?」「私の家何もしないよ!」「大丈夫でしょう?」「いやいや、危ないわ、やっぱり」。今回の研修をきっかけに、クラブ員の方々の意識が高まり、大災害への備えとなることを期待します。(矢野)





高槻市消防本部

北消防署救助隊専任化！！

高槻市では、本市の念願であった新名神高速道路高槻インターチェンジ・ジャンクションの供用開始を控え、本市や大阪府が進める新名神高速道路関連道路も順次整備されています。新名神高速道路や名神高速道路が利用できるようになると、利便性が格段に向上する一方、交通事故をはじめとする災害の発生リスクも高まります。

本市消防本部では、それらのリスクに備えるため、北消防署に配備している消火隊兼任の救助隊を専任の救助隊として、平成28年10月1日から運用を開始しました。高槻インターチェンジ・ジャンクションの供用開始までに、新名神高速道路、名神高速道路及び関連道路の状況を十分に把握し、迅速な対応が可能な出動体制を構築してまいります。

また、あらゆる災害を想定した訓練を積み重ね、いざというときの対応に備えるとともに隣接するインターチェンジを管轄することとなる他の消防本部との連携を密に市民生活の安全確保に努めます。



堺市消防局

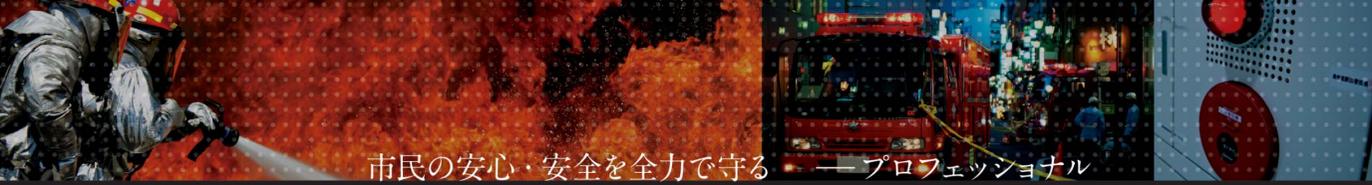
安全運転技術研修会を開催！

平成28年11月10日（木）、11日（金）の2日間、交通事故防止の徹底と安全運転意識の高揚及び技術の習得を目的として安全運転技術研修会を行いました。

この研修会は、安全運転業務における指導的立場となる職員養成のため、緊急車両指導員養成研修に派遣された職員が講師を務め、機関業務の経験の浅い職員合計48名を対象として車両走行訓練と車両誘導訓練を実施しました。受講者全員が真剣に運転技術の向上を目指して訓練に取り組み、交通事故防止のため車両感覚や車両特性を再確認しました。

団塊世代の大量退職を経てベテランの機関員が大量に退職されたことや、採用後10年未満の職員が半数を占めることなどから、ここ数年、公用自動車の事故件数を減らすことができず、資質の高い機関員の育成は喫緊の課題です。

今後も、指導員の養成や実技研修を重ねることで、職員の安全運転意識と技術の向上を図り、消防車両等の安全運転に努めてまいります。



市民の安心・安全を全力で守る — プロフェッショナル

ダム保有資機材を使用した
合同訓練を実施

河内長野市消防本部



河内長野市消防本部では、平成28年10月28日（金）、市内滝畑地区にある滝畑ダムにおいて、大阪府南河内農と緑の総合事務所及び河内長野警察署との合同訓練を実施しました。この訓練は、先般滝畑ダムで発生した救助事案を契機に、滝畑ダムで管理しているボート等の保有資機材を滝畑ダム分室職員の指導のもと、警察署員や消防職員が共用し、各関係機関とのスムーズな連携活動の構築を目的として実施しました。

大阪府内のダムでは最大規模となる滝畑ダムは、紅葉の時期やキャンプシーズンには大勢の観光客が訪れることから、今回の合同訓練により、災害発生時に備えた初動体制の確立及び迅速な救助活動が期待出来るものです。

訓練当日は小雨が降る中、消防職員他総勢27名が訓練に参加し、格納庫からボートを出す昇降操作方法や操船時の水上フェンス通過要領等、緊急使用の際にスムーズな活動が出来るよう、各関係機関との連携強化に努めました。



枚方寝屋川消防組合消防本部

支援車 I 型の取扱訓練を実施

本消防組合では、平成25年に総務省消防庁から無償貸与された支援車 I 型が配備され、毎日勤務職員24名を3班に編成し、大規模災害が発生すれば即時出動することができるよう、派遣職員の指名を行っています。また、近年多発する大規模災害に対して、後方支援の重要性が高まっていることから、毎月1回の割合で、定期的に取り扱い訓練を行う訓練計画を策定しました。

この訓練では、居住空間を確保するための拡幅装置や、資機材の取扱訓練を行うとともに、車両感覚を身に着けるため公道での走行訓練を重点的に実施しています。このように、毎月、定期的な訓練を実施することで、より多くの職員が支援車 I 型の取り扱いを熟知し、機能を最大限活用することができるものと考えます。

今後も、大規模災害発生時に後方支援隊として、迅速かつ的確に対応ができるよう、様々な取り組みや活動を実施していきます。

平成28年度
「高圧ガス保安活動促進週間」の実施結果について
放置ボンベ撲滅 ～ りすボンの活用

規制課

高圧ガス保安活動促進週間

高圧ガス保安活動促進週間には、高圧ガスを取り扱う事業所などに、高圧ガスに係る保安の確保及び自主保安意識の高揚を図り、高圧ガスによる災害を防止し、公共の安全を確保することを目的として、立入検査や啓発チラシの配付などを毎年実施しています。今年度は、10月23日(日)から29日(土)までの7日間実施されました。

週間中の取組み

規制課保安担当は、各消防署と合同で、高圧ガス製造施設(今年度は冷凍施設が対象)へ立入検査を実施し、関係者に放置ボンベの危険性や発見時の適正な対応について指導しました。各消防署においても当週間で、計画的に高圧ガス施設などへ立入検査を実施しました。放置ボンベを撲滅するため、広報用ポスターを作製して各消防署の掲示板などに掲出するほか、ラジオ放送やホームページ、フェイスブックなどの広報媒体を通して市民の皆様と関係事業者に広く啓発活動を行いました。



広報用ポスター

消防署が電子掲示板で広報



合同立入検査の様子

規制課と消防署合同で実施した立入検査の状況(週間中)

対象施設	施設数	不備事項	是正数
冷媒ガスにアンモニアを使用する冷凍施設	5	1	1
設置から10年を経過した冷凍施設	12	3	3
立入検査が未実施の冷凍施設	12	3	3

不備事項の内容: 危害予防規程の修正・廃止の未届・承継の未届・警戒標の不良



放置ボンベリーフレット

全消防署で実施した立入検査の状況（週間中）

対象施設	立入検査数	検査人員
高圧ガス保安法の規制対象施設	81施設	127名
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の規制対象施設	10施設	10名

おわりに

当週間中、消防局と消防署あわせて120か所の高圧ガス施設等へ立入検査を実施し、不備事項の改善・指導を行いました。

今後も、ボンベを適正管理するよう指導していくことはもちろん、各消防署で実施する一般住宅への防火指導や火災予防運動における街頭啓発などの機会に、放置ボンベ撲滅マスコットキャラクター「りすボン」を活用して、放置ボンベの危険性を市民に広報していきます。

また、関係団体とも連携して、放置ボンベ撲滅の啓発活動を継続することにより放置ボンベの早期発見及び撲滅に繋がっていきます。

所属サイトに掲載中の「保安3法虎の巻」もリニューアルしていきますので、是正指導等に活用していただき、保安3法施設の更なる安全・安心の確保にご協力をよろしく願います。（文責 楠田）



デザイン協力
HAL 大阪

大阪府内での放置ボンベを起因とした事故事例

平成28年7月、府内の空き地に不法投棄された酸素ボンベ（47ℓ）が突然破裂し、付近を走行中の軽貨物車に接触する事故が発生しました。当該ボンベは腐食が激しいため、所有者の特定ができず、また、いつごろから投棄されていたのか不明でした。

幸い、この事故による人的被害はありませんでしたが、同様の事故が発生しないよう、放置ボンベを見かけたら近くの消防署へ連絡してください。



破裂したボンベと接触した軽貨物車

第4回大阪府下警防技術指導会

大阪府下消防長会

はじめに

本指導会は、警防技術の向上を図るとともに、府内消防本部の消防隊が技術的交流を深めることにより、装備や戦術の違いを理解し、大阪府下広域災害応援時及び緊急消防援助隊派遣時等の際に、各消防本部が互いに理解し、連携を密にして円滑な活動体制を構築していくことを目的としている。

このような都道府県内すべての消防本部が、警防技術を切磋琢磨する指導会は、全国初の試みで始まり、今回が4回目の開催になる。

なお、本年度も府内消防本部等を通じて指導会開催の広報を行ったところ、多くのご来場者があり、指導会を通じて、防災意識の向上を図ることができた。



開催概要

開催日時

平成28年11月25日(金)

9時00分〜13時30分

開催場所

大阪市消防局 高度専門教育訓練センター

東大阪市三島2-5-43

指導会内容

開会式

- ・ 開会宣言
- ・ 人員・機械報告
- ・ あいさつ
- ・ 最優秀旗返還
- ・ 審判長指示
- ・ 警防技術指導会
- ・ 合同訓練

訓練

閉会式

- ・ 成績発表
- ・ 表彰式
- ・ 講評
- ・ 閉会宣言

出場人員・機械

警防技術指導会

- ・ 出場人員
- 各消防本部実施隊は1隊4名とする。
- 大阪府内27消防(局)本部

108名

※出場隊員要件・原則として実務経験3年以下の職員1名以上を出場させることとする(専任救助隊員として任命されている者は除く)

- ・ 出場機械

各消防本部が消火隊として使

用している消防車両

訓練実施車両 27台

合同訓練

・出場人員

大阪府内5消防本部 18名

・出場機械

消防隊 2隊

大阪狭山市消防本部

摂津市消防本部

化学隊 1隊

堺市消防局

梯子隊 1隊

守口市門真市消防組合消防

本部 1隊

指揮隊

大阪市消防局

主催

大阪府下消防長会

訓練概要

警防技術指導会

「木造2階建て一般住宅の2階1室10㎡燃焼中、2階に要救助者1名あり」との火災想定で消防車両1台、1小隊4名で消火活動及び救助活動を実施。車両及び積載品・個人装備の着装要領等の事前審査を受けたのち

訓練を開始。

訓練では、車両停車位置からホースを延長し、地上から2階開口部に見立てた標的に放水。その後ベランダに梯子を架け、取り残された要救助者を地上へ救出。ベランダから開口部の火力を制圧後、2階に進入し、2か所ある炎に見立てた標的を放水によりすべて落とし訓練終了となる。

※審査は、「事前審査・車両運行審査・行動審査1・行動審査



警防技術指導会の様子

2・無線審査・小隊時間審査(各100点満点)」

合同訓練

合同訓練は大阪府下広域災害応援時及び緊急消防援助隊派遣時等、大阪府内の各消防本部が互いに協力し、災害対応している場合を想定し、互いに連携を密にして円滑な活動体制を構築することができることを目的として実施した。

訓練は、南海トラフ巨大地震により、石油コンビナートの屋外貯蔵所のタンク(浮き屋根式)が着火し、延焼拡大の危険がある想定とし、訓練実施5小隊が指揮・消火活動を連携して行った。

警防技術指導会結果

最優秀賞

大阪市消防局

優秀賞

吹田市消防本部

優秀賞

松原市消防本部

おわりに

大阪府内の消防職員が一同に会し、訓練を実施することにより、さらなる警防技術の向上や消防本部間におけるコミュニケーションの強化が図られた。

万一、大規模災害が発生した際には、大阪府下広域災害応援及び緊急消防援助隊派遣等、府内消防本部間での連携が円滑に進むことにより、より質の高い警防活動につながることを期待したい。



表彰式

高圧ガス保安法 第5条「製造の許可等」 ～昇任試験対策編～



みなさん、こんにちは！今回のテーマは、高圧ガス保安法の第5条「製造の許可等」です。

法第5条は、高圧ガスの製造について、使用するガスの種類や一日の処理能力などの区分に応じて、許可を受け、又は届出をしなければならないことを規定しています。一緒に勉強しましょう！

キセイカ ナビ vol.43

From 予防部規制課



高圧ガスの製造の種類について

製造の許可等を勉強する前に、そもそも、高圧ガスの製造には、どのような種類があるのか知っていますか？大きく分けると、次の3種類があります。

高圧ガスの製造の種類

	製造の種類	例
1	圧力を変化させる	・ 高圧ガスでないガスを圧縮機やポンプにより昇圧し、高圧ガスにする。 ・ 高圧ガスを圧縮機やポンプにより昇圧し、さらに圧力の高い高圧ガスにする。 ・ 圧力の高い高圧ガスを減圧して、圧力の低い高圧ガスにする。
2	状態を変化させる	・ 気体を凝縮器等により液化ガスにする。 ・ 液化ガスを気化器等で蒸発させ、高圧ガスにする。
3	容器に充填する	・ 高圧ガスを容器から別の容器へ移充填する。

高圧ガスの製造施設に必要となる許可・届出について

それでは、法第5条の条文を見てみましょう。高圧ガスを製造する施設に必要な許可、届出をまとめると次のようになります。

高圧ガス製造施設に必要な許可・届出

条文	設備の種類	ガス等の種類	一日に処理できるガスの容積*2	必要なもの	届出の期日
第1項	第1号 冷凍設備以外	第1種ガス*1以外	100m ³ 以上	都道府県知事の許可 この許可を受けた者を「第1種製造者」といいます。(法第9条)	/
		第1種ガス	300m ³ 以上		
第2号 冷凍設備	アンモニア及びフルオロカーボン冷媒以外	アンモニア及びフルオロカーボン冷媒	20t以上		
		アンモニア及びフルオロカーボン冷媒	50t以上		
第2項	第1号 冷凍設備以外	第1種ガス以外	100m ³ 未満	都道府県知事への届出 この届出をした者を「第2種製造者」といいます。(法第10条の2)	事業開始日の20日前まで
		第1種ガス	300m ³ 未満		
	第2号 冷凍設備	アンモニア及びフルオロカーボン冷媒以外	3t以上20t未満		製造開始の日の20日前まで
		不活性のフルオロカーボン冷媒	20t以上50t未満		
		アンモニア及び不活性以外のフルオロカーボン冷媒	5t以上50t未満		

※1 第1種ガスとは、ヘリウム、ネオン、アルゴン、クリプトン、キセノン、ラドン、窒素、二酸化炭素、フルオロカーボン（難燃性を有するものとして経済産業省令で定める燃焼性の基準に適合するものに限る。）又は空気をいう。（令第3条）

※2 温度0℃、圧力0Paの状態に換算した容積をいう。

〈凡例〉
法：高圧ガス保安法
令：高圧ガス保安法施行令

ポイント

高圧ガスの製造をする者で、法第5条第1項及び第2項のいずれにも該当しないものを「その他の製造者」といいます。その他の製造者は、許可や届出のいずれも必要としませんが、法第13条に規定する技術上の基準に従って高圧ガスの製造をしなければなりません。



大阪市防火管理協会からのお知らせ

(一社)大阪市防火管理協会販売図書のご案内



防火・防災管理のススメ
～防災管理編～ (5 訂版)
法令・条例
平成28年2月1日現在

【内容】

- ・ 防災管理者が業務遂行上必要な基本的事項を説明した必携書。
- ・ 防災管理の意義や防災管理制度、自衛消防組織についての解説、防災管理に係る消防計画と作成チェック表、地震等の災害から建物を守り被害を軽減する「防災管理上必要な構造・設備の維持管理」、自衛消防組織や防災管理に関する届出書の記入例などを掲載しています。

A4判 編集・発行／一般社団法人大阪市防火管理協会
監修／大阪市消防局

【お問い合わせ・お申込み先】

(一社) 大阪市防火管理協会
〒544-0021 大阪市生野区勝山南4丁目7-11
TEL: 06-6741-2130 FAX: 06-6712-2130

防火・防災管理講習日程表

●甲種防火管理新規講習

〔講習会場: 大阪市立阿倍野防災センター〕
〔講習時間: 両日とも10:00～16:00〕

回数	開催日
第39回	平成29年2月11日(土)、12日(日)
第40回	平成29年2月13日(月)、14日(火)
第41回	平成29年2月20日(月)、21日(火)

●甲種防火管理再講習

〔講習会場: 大阪市消防局生野分室〕
〔講習時間: 14:00～16:00〕

回数	開催日
第14回	平成29年2月6日(月)

●乙種防火管理講習

〔講習会場: 大阪市消防局生野分室〕
〔講習時間: 10:00～16:00〕

回数	開催日
第2回	平成29年2月7日(火)

●防災管理新規講習

〔講習会場: 大阪市消防局生野分室〕
〔講習時間: 10:00～15:30〕

回数	開催日
第17回	平成29年2月8日(水)
第18回	平成29年2月24日(金)

●防火・防災管理新規講習

〔講習会場: 大阪市立阿倍野防災センター〕
〔講習時間: 両日とも10:00～17:00〕

回数	開催日
第27回	平成29年2月2日(木)、3日(金)
第28回	平成29年2月15日(水)、16日(木)
第29回	平成29年2月27日(月)、28日(火)

●防火・防災管理再講習

〔講習会場: 大阪市消防局〕
〔講習時間: 14:00～17:00〕

回数	開催日
第8回	平成29年2月9日(木)



平成28年

秋の叙勲

おめでとうございます

第27回危険業務従事者叙勲受章者として
次の方々がその榮譽に輝きました



瑞宝双光章
元消防監
石津 良昭
(64歳)



瑞宝单光章
元消防監
折田 昭英
(64歳)



瑞宝双光章
元消防正監
今井 常弘
(63歳)



瑞宝单光章
元消防司令長
中川 正人
(66歳)



瑞宝双光章
元消防司令長
朝崎 満
(66歳)



瑞宝单光章
元消防司令長
阪本 伸司
(66歳)



瑞宝单光章
元消防司令
長 豊次郎
(70歳)



瑞宝单光章
元消防司令
光永 宣裕
(70歳)



瑞宝双光章
元消防司令長
岩澤 誠
(66歳)





瑞宝单光章
元消防司令
村田 正年
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
永野 治良
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
古川 康彦
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
松本 浩二
(70歳)



瑞宝单光章
元消防司令
本間 茂男
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
矢野 誠一
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
早川 敢
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
楠田 稔
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
岩倉 博三
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
森田 秀昭
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
礒辺 宏
(69歳)



瑞宝单光章
元消防司令
吉川 清二
(69歳)





平成28年

高齢者叙勲

○平成28年2月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令 福井

昭 (88歳)

○平成28年2月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令補 辻

肇 (88歳)

○平成28年2月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令補 奥田

幸生 (88歳)

○平成28年4月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令 浦垣

信夫 (88歳)

○平成28年4月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令 西迫

久夫 (88歳)

○平成28年4月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令補 下村 武彦 (88歳)

○平成28年5月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令補 山口 政則 (88歳)

○平成28年9月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令補 西野 昭 (88歳)

○平成28年11月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令 五島 和典 (88歳)

○平成28年12月1日 発令

瑞宝单光章

元大阪市消防司令補 中井喜代次 (88歳)

勲章受章おめでとうございます

中央区 住商ビルマネージメント株式会社大阪支社自衛消防隊

住商ビルマネージメント株式会社大阪支社は中央区を中心にオフィスビル、駐車場などの不動産の総合的な管理、運営やそれに関わるコンサルティング事業などを幅広く展開されています。八本隊長以下約50名の自衛消防隊員は、約3,000名が勤務している住友ビル本館を初めとする6つのビルの安全を守るために、約1,200名が参加する大規模な総合訓練や様々な内容の自衛消防訓練を年に数回定期的に実施しています。また、自社が管理する建物の自衛消防隊やテナント従業員に対して自衛消防訓練の指導を行うなど、日々の防火・防災意識の向上と防災意識の高



揚に努められています。中央自衛消防協議会では副会長として多年にわたり会の行事に積極的に参加されるなど会の運営にご尽力いただいております。

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
八本 信一

住友ビル利用者の安心・安全を確保すべく、各テナント様の防火・防災意識を高め、災害発生時迅速な対応ができるよう連携強化に努めるなど、日々の防火・防災業務に取り組んでいます。



女性 防火クラブ だより

平野区

平野区は大阪市の東南部に位置し、東は八尾市、西は東住吉区、南は松原市、北は生野区及び東大阪市に接しており、人口は市内第1位、区域面積は市内で第3位の地域です。

住居地区として色合いが強いですが、南部は市営住宅や中高層住宅が建つ町並みの中に農地や遺跡が存在し、中央部は古い家々と多数の神社仏閣が存在する町並み、北部は工業地域としての町並み等バラエティーに富んだ町になっています。

その中で平野区女性防火クラブは、会長のもと、各連合町会の女性防火クラブの委員長が中心となり、家庭からの出火防止と災害による被害の軽

減を図ることを目的に、防火・防災知識の普及啓発、通報避難の要領並びに初期消火の技術、応急手当の習得等「安全で住みよいまちづくり」の推進に寄与されております。また、昨年の女性防火クラブ委員長会議において副会長を3名体制に増員されるなど、女性防火クラブと消防署が互い緊密に連携し、「災害の無い町・災害に強い町」をめざし精力的に活動されています。





新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。平素は、災害活動支援隊に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

大阪市内に大規模な災害が発生した場合に、消防力を補充する新たな組織として平成17年9月に発足した「大阪市消防局災害活動支援隊」も発足後10年が経過致しました。現在、約700名の皆様に登録して頂きまして、消防出初式、震災訓練、特別訓練などに参加し、近い将来起こり得る災害に備えております。

昨年も熊本震災をはじめ、茨城県常総市で堤防決壊等を起こした台風に伴う記録的豪雨や、各地の火山災害など自然災害が多数発生し、甚大な被害をもたらされたことは記憶に新しいことと思いません。

更に近年全国各地で地震が頻発し、南海トラフ巨大地震の発生も一段と現実味を帯びてきております。万一震災等大規模災害が発生しました際には、現職の消防隊員と協働し、災害現場で市民の皆様の手助けになれるよう精一杯努力して参りますので、本年も引き続き変わらぬご指導ご協力を賜りますようお願い致します。

また昨年はIFCAA2016が大坂で開催され、アジア各国の消防長の絆が一層深まるものとなりました。これを契機として今年も大阪府消防局の更なる発展をお祈りいたしております。

結びになりましたが、災害活動支援隊の活動の推進に色々ご意見を頂いている「災害活動支援隊の運用に関する検討会」の委員の皆様を紹介させて頂きまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

検討委員



濱田 一司氏



越野 信次氏



山本 弘氏



関口 良氏



大本 清司氏



松本 悟氏



寺本 将登氏



山野 高士氏

大阪府消防局
災害活動支援隊
谷口 光行隊長相談役
鈴木 芳夫氏

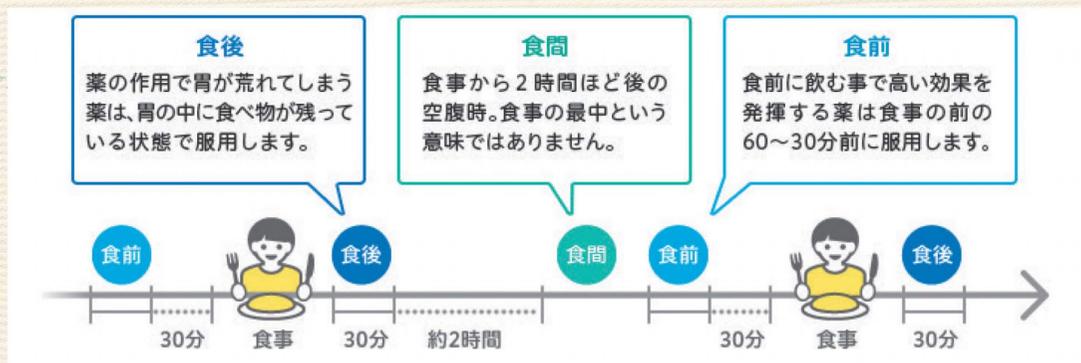


飲み薬とのつきあい方

飲み薬は体内の目的の場所で最も効果が発揮されるよう、また思わぬ副作用を起こさないよう、飲む時間や形、1回量などが工夫されています。

用法用量を守った正しい服用が大切です。ポイントを確認してみましょう。

☆**タイミング** 食前、食後、食間、頓服など決められた時間を守りましょう。



☆**方法** 飲み薬はコップ1杯の水やぬるま湯で飲むのが原則。コーヒーやジュースなどは、薬の効果に影響が出ることがあります。水なしで飲むと…薬がのどや食道に引っかかり、食道炎や潰瘍を起こすこともあります。特にカプセルはくっつきやすいので注意。水の量が少ないと…薬の吸収が遅くなり、薬の効き目が悪くなることがあります。

☆**量** 自己判断で飲む量を増やしたり減らしたりするのは避けましょう。

☆**期間** 治ってきたから大丈夫と自己判断で服用を中止しないようにしましょう。指示があった期間は服用を続けるのが基本です。

☆**飲み合わせ** 薬と薬が作用し合って、効果を妨げたり、強めすぎたりするなど一緒に飲んではいけない薬もあります。

☆**本人以外はダメ** 処方された薬はそのときの症状に合わせたものです。同じ症状だからといって、また飲んだり、ほかの人にあげるのは止めましょう。



※過去のアレルギーも、大切な情報です。疑問に思うことは、**医師や薬剤師など専門家にお薬手帳を持参して相談しましょう。**



— (大阪めぐり 表 紙) —

大阪市消防局

管轄区域 市内 24 区
管轄面積 225.21km²
職員定数 3,560 人

職員数 3,515 人
(H28.10.1現在)



車両	
消防車	253台
救急車	75台
その他の消防車両	75台
消防艇	2艇
消防救助艇	2艇
消防ヘリコプター	2機
合計	409台

組織	
本 部	
総務部	総務課、人事課、施設課
企画部	企画課
予防部	予防課、規制課
警防部	警防課、司令課
救急部	救急課
	高度専門教育訓練センター
消防署	25消防署、64出張所

編集室

冬は各地できれいなイルミネーションが見ることができ、神戸フルーツ・フラワerparkの「神戸イルミネーション」へ孫と愛犬と一緒に遊び、LEDの光によるメルヘンの世界を孫が興味のある所を何回も見て回り、はしゃいでいた。また昼には見られない光と音楽のモンキーショーも楽しみました。

通勤しているバス乗り場のロータリーにもミニながらイルミネーションが飾られており、各地のイルミネーションは長いところでは2月ごろまで見ることができそう。

新しい年を迎え、平穏な明るい年で



今年も版画のカレンダー230枚を刷り終えた。色版の数だけバランを使うので、1200回以上和紙をこすった。見当外れの語源にもなった。見当に、和紙を置くときには息を止めてきつちりと位置決めをしているが、機械と違って、何時間も同じ動作を繰り返している。30センチ以上の和紙になると、上の方で1ミリずつれると下の方では5ミリのずれになる。30代に一週間かけて北海道の南半分を旅して、最後に函館から奥尻島に渡った。そこで食べた雲丹の味は忘れられない。1993年(平成5年)に大津波が奥尻島を襲って、降り立った飛行場も大津波に飲み込まれ、231名もの尊い命が失われた。あれから24年。今年の酉歳こそは、平穏な年であってほしい。

熱燗の方が良いよと屋台酒 (高)



大阪消防

平成29年1月号 第68巻第1号 通巻第802号
発行 大阪消防清風会
企画・監修 大阪市消防局
編集 大阪市消防局企画部企画課内
大阪消防編集部
〒550-8568 大阪市西区九条南1-12-54
TEL 06-4393-6036
FAX 06-6582-2864
Eメール taka-yamano@city.osaka.lg.jp
年間購読料 年間 4,560 円
(消費税・送本手数料含む)
制作・販売 株式会社サイネックス

あるように願いたい。(利)

新しい年を迎えまた、歳を重ねる。

酉年は、西暦年を12で割って1が余る年が酉の年となり、また「とり」は人に時を報せる動物でもあり、「とりこむ」と言われ、商売などには縁起の良い干支でもあると言われている。

毎年、初詣に出かけると「家内安全・火の用心」といつもお祈りする。ちよつと古風気味だが、何も思いつかず、つい同じことばを繰り返している。

酉年らしく何か羽ばたく気持ちもあるが、今年こそより今年も例年どおりで良いのだから。(陸)



防災講演会 2017

「地震への備え」

～ 阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震からの教訓を生かす ～

お知らせ

平成29年1月25日(水) 14時00分～16時00分

〔主催〕(一財)大阪消防振興協会・大阪市立阿倍野防災センター
〔後援〕大阪府下消防長会・大阪市消防局

入場無料
(事前申込制)

定員になり次第締め
切らせていただきます

場所

「ヴィアーレ大阪」4階 ヴィアーレホール
大阪市中央区安土町3-1-3 (06-4705-2411)
地下鉄御堂筋線「本町駅」①出口から東へ徒歩3分

講師

神戸大学
都市安全研究センター
教授
北後 明彦 (ほくご あきひこ)



申込先

メール: kyokai@ossk.or.jp
ファックス: 06-6459-1458

お問い合わせ

(一財)大阪消防振興協会 総務課
電話: 06-6459-1451

防犯 防火 防災 のことなら

防災相談所へ



■ 防犯、防火、その他防災に関するご相談をお伺いしています。

■ 防犯ブザーなどの防犯機器、住宅用火災警報器などの防災グッズを展示・紹介しています。

相談無料

☎ 電話によるご相談にも応じています

一般社団法人 大阪府防災通信協会
防災相談所

〒540-0012
大阪市中央区谷町2丁目3番8号 ピジョンビル1階
TEL・FAX (06)6946-1060

**市民と消防
ふれあいコーナー
11:20~12:00**

平成29年 大阪市 消防出初式

日時 1月6日(金) 10:00~12:00
ATC(アジア太平洋トレードセンター) 大阪市住之江区南港北2丁目

主催：大阪市 協賛：アジア太平洋トレードセンター株式会社
Tel:06-6582-2854 Fax:06-6582-2864 <http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/> **大阪市消防局**

デザイン協力 **FIAL大阪** CG学科 磯近 弥里

プログラム

- 10:00 …… 開式
- 10:01 …… 機械部隊分列行進
- 10:10 …… 市民参加パレード
- 10:15 …… 徒歩部隊分列行進
- 10:20 …… 出場部隊・人員報告
- 10:25 …… 式辞
- 10:30 …… 来賓祝辞
- 10:35 …… 消防局長答辞
- 10:45 …… 観閲
- 10:50 …… 消火・救助総合訓練
- 11:10 …… 一斉放水
- 11:15 …… 閉式
- 11:20-12:00 市民と消防ふれあいコーナー

※天候等によりプログラムを変更する場合がございますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

会場MAP

●案内所 WCトイレ

ITM棟 2F

出初式会場

**機械部隊
分列行進**
消防車両・
消防ヘリコプター・
消防艇が集結

**消火・救助
総合訓練**
陸・海・空が
一体となった
迫力ある訓練

一斉放水
消防車・
消防艇による
色鮮やかな放水

**徒歩部隊
分列行進**
消防職員による
力強い行進

市民と消防ふれあいコーナー
11:20~12:00

消防車の観覧、起震車での地震体験、子ども用消防服をきてミニ消防車で記念撮影するコーナーなどを設け、未来からやってきたファイアーファイター「セイバーミライ」とともに、消防職員一同みなさまのお越しをお待ちしております。

©TOMY (株) 登録商標。パナソニック(株)の登録商標です。